平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月1日

上場会社名　大成ラミック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4994　URL　http://www.lamick.co.jp
代表者　(役職名)代表取締役社長兼管理本部長　(氏名)木村義成
問合せ先責任者　(役職名)代表取締役社長兼管理本部長　(氏名)木村義成　TEL 0480-97-0224
四半期報告書提出予定日　平成22年2月12日
配当支払開始予定日　—

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	13,000	1.9	1,501	43.8	1,512	42.9	818	39.6
21年3月期第3四半期	12,762	—	1,044	—	1,058	—	586	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	131.81	—
21年3月期第3四半期	94.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	14,840	10,649	71.8	1,715.36
21年3月期	14,408	10,248	71.1	1,650.74

(参考)自己資本　22年3月期第3四半期　10,649百万円　21年3月期　10,248百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
22年3月期	—	33.00	—		
22年3月期(予想)				33.00	66.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	2.2	1,346	6.0	1,359	5.6	770	33.6	124.06

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更　無

② ①以外の変更　無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第3四半期	6,300,000株	21年3月期	6,300,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	91,469株	21年3月期	91,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計期間）	22年3月期第3四半期	6,208,572株	21年3月期第3四半期	6,208,635株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は。業績の変化等により、上記予測数値と異なる場合があります。

業績予測の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1.　経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、経済対策の効果により一部で回復の動きが見られるものの、企業収益や雇用情勢は依然として厳しく、デフレ進行等もあり先行き不透明な経済環境が続いております。

当軟包装資材業界におきましては、円高等の為替変動や原油価格の下落による原材料価格の一時的な値下げの影響により利益確保はなされているものの、景気の悪化や個人消費の低迷、原油価格の更なる上昇等の減収要因も強く、今後の利益確保は予断を許さない状況であります。

このような状況下、当社のビジネスモデルである包装フィルムと充填機械を提供する体制のもと、海外展開を含め液体充填システムを食品業界から洗剤・化粧品業界まで積極的な営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は130億円（前年同期比1.9％増）、営業利益は15億１百万円（同43.8％増）、経常利益は15億12百万円（同42.9％増）、四半期純利益は８億18百万円（同39.6％増）となりました。

［包装フィルム部門］

包装フィルム部門につきましては、鍋スープ等の冬物商品が伸び悩むなか、非食品分野である化粧品・健康食品関連商品の拡販に注力するとともに北米への輸出が順調に推移いたしました。また、生産体制の見直しや物流の効率化等による経費削減を行い積極的な利益確保に努めました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は123億９百万円（前年同期比3.0％増）となりました。

［包装機械部門］

包装機械部門につきましては、国内の既存顧客を中心に保守メンテナンスを通じ、充填機械から周辺機械まで幅広くお客様のニーズを把握し、更なる需要の掘り起こし等を行ってまいりましたが、各企業の設備投資動向は依然弱く、前年同期の売上げを下回りました。

その結果、包装機械部門の売上高は６億90百万円（前年同期比14.7％減）となりました。

2.　財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ４億31百万円（前事業年度末比3.0％）増加し、148億40百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ４億７百万円（同4.2％）増加し、100億５百万円となりました。主たる増加要因としては、営業活動の拡大等により受取手形及び売掛金が６億71百万円増加したことと、現金及び預金が１億91百万円減少、貸倒引当金が38百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ24百万円（同0.5％）増加し、48億35百万円となりました。主たる増加要因としては、有形固定資産の建物の建設等の取得で１億22百万円増加したことと、投資その他の資産の繰延税金資産が72百万円減少、機械及び装置の除却等の影響で47百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ30百万円（同0.7％）増加し、41億90百万円となりました。主たる増加要因としては、営業活動の拡大等により買掛金が１億28百万円増加、流動負債のその他が２億１百万円増加、固定負債のその他が79百万円増加したことと、役員退職慰労金の支払による役員退職慰労引当金が２億47百万円減少、賞与引当金が１億12百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、106億49百万円（前事業年度末の純資産合計は102億48百万円）となりました。主たる増加要因としては、業績が拡大したこと等に伴い、利益剰余金が４億８百万円増加したことと、その他有価証券評価差額金が７百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の71.1％から0.7ポイント上昇し71.8％となり、１株当たり純資産額は1,715円36銭となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による収入が７億１百万円ありましたが、投資活動による支出が６億13百万円、財務活動による支出が３億72百万円あったことにより、前年同期に比べ31百万円の増加になり、当第３四半期会計期間末には16億63百万円（前年同期比1.9％増）となりました。

当第３四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は７億１百万円（前年同期比22.1％増）となりました。

これは主に、売上債権の増加額６億71百万円、法人税等の支払額５億54百万円、役員退職慰労引当金の減少額２億47百万円、賞与引当金の減少額１億12百万円があったものの、税引前四半期純利益が14億25百万円、減価償却費４億50百万円、仕入債務の増加額１億28百万円、有形固定資産除却損１億10百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動の結果使用した資金は６億13百万円（同0.2%減）となりました。
これは主に、新潟事業所工場建物等の有形固定資産の取得による支出４億88百万円、定期預金の預入による支出92百万円、投資有価証券の取得による支出35百万円等によるものであります。
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動の結果使用した資金は３億72百万円（同1.9%増）となりました。
これは主に、資金使途として配当金の支払額３億68百万円等によるものであります。

3.　業績予想に関する定性的情報
現時点において、平成21年５月11日付「平成21年３月期　決算短信(非連結)」記載の通期予想を変更しておりません。

4.　その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成21年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,063,339	3,254,947
受取手形及び売掛金	5,190,247	4,518,557
商品及び製品	1,079,302	1,038,713
仕掛品	362,669	366,126
原材料及び貯蔵品	112,961	150,607
その他	240,921	273,865
貸倒引当金	△44,234	△5,422
流動資産合計	10,005,208	9,597,394
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,839,902	1,717,845
機械及び装置（純額）	1,059,728	1,106,843
土地	1,072,153	1,072,153
その他（純額）	363,120	328,901
有形固定資産合計	4,334,904	4,225,742
無形固定資産	137,824	150,483
投資その他の資産		
その他	398,910	463,350
貸倒引当金	△36,262	△28,291
投資その他の資産合計	362,648	435,058
固定資産合計	4,835,377	4,811,284
資産合計	14,840,585	14,408,679

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間末 （平成21年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成21年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,824,082	2,695,093
未払法人税等	224,750	276,060
賞与引当金	125,000	237,700
役員賞与引当金	12,449	14,550
その他	729,750	527,899
流動負債合計	3,916,034	3,751,303
固定負債		
退職給付引当金	166,846	133,000
役員退職慰労引当金	27,866	275,466
その他	79,923	103
固定負債合計	274,636	408,570
負債合計	4,190,670	4,159,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408,600	2,408,600
資本剰余金	2,896,075	2,896,075
利益剰余金	5,574,148	5,165,525
自己株式	△209,012	△208,902
株主資本合計	10,669,811	10,261,297
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19,896	△12,492
評価・換算差額等合計	△19,896	△12,492
純資産合計	10,649,915	10,248,804
負債純資産合計	14,840,585	14,408,679

(2)【四半期損益計算書】
【第３四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）
売上高	12,762,327	13,000,439
売上原価	9,859,681	9,636,075
売上総利益	2,902,645	3,364,363
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	397,647	391,236
貸倒引当金繰入額	968	48,057
役員報酬	88,883	77,851
役員賞与引当金繰入額	9,000	12,449
給料及び手当	420,624	425,751
賞与	97,320	96,109
賞与引当金繰入額	45,420	48,524
退職給付費用	43,223	44,122
役員退職慰労引当金繰入額	3,312	3,025
福利厚生費	72,685	79,367
旅費及び交通費	74,079	73,328
賃借料	127,938	149,371
消耗品費	52,014	48,211
減価償却費	109,407	83,965
その他	315,945	281,761
販売費及び一般管理費合計	1,858,472	1,863,135
営業利益	1,044,172	1,501,228
営業外収益		
受取利息	7,495	5,104
受取配当金	5,811	3,451
仕入割引	171	15
受取補償金	9,318	11,888
雑収入	9,098	3,918
営業外収益合計	31,895	24,378
営業外費用		
支払利息	－	271
売上割引	1,486	1,623
支払補償費	10,695	7,782
雑損失	5,654	3,325
営業外費用合計	17,836	13,002
経常利益	1,058,231	1,512,603

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	－	4,075
補助金収入	－	23,520
特別利益合計	－	27,595
特別損失		
固定資産売却損	37	－
固定資産除却損	34,877	115,028
役員退職慰労金	1,050	－
特別損失合計	35,964	115,028
税引前四半期純利益	1,022,267	1,425,170
法人税、住民税及び事業税	388,795	494,106
法人税等調整額	47,128	112,675
法人税等合計	435,924	606,781
四半期純利益	586,342	818,389

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,022,267	1,425,170
減価償却費	448,743	450,859
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6,121	46,783
賞与引当金の増減額（△は減少）	△101,700	△112,700
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,000	△2,100
退職給付引当金の増減額（△は減少）	20,656	33,846
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1,262	△247,600
受取利息及び受取配当金	△13,306	△8,555
支払利息	－	271
投資事業組合運用損益（△は益）	1,442	90
有形固定資産売却損益（△は益）	37	－
補助金収入	－	△23,520
有形固定資産除却損	18,969	110,824
無形固定資産除却損	15,039	2,286
売上債権の増減額（△は増加）	△802,091	△671,690
たな卸資産の増減額（△は増加）	△216,500	513
仕入債務の増減額（△は減少）	578,367	128,989
未払消費税等の増減額（△は減少）	△16,289	46,900
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△23,879	△55,500
その他の流動負債の増減額（△は減少）	245,887	98,285
その他の固定負債の増減額（△は減少）	35	9,330
その他	6,207	△7,971
小計	1,176,027	1,224,516
利息及び配当金の受取額	13,161	8,669
補助金の受取額	－	23,520
利息の支払額	－	△271
法人税等の支払額	△614,377	△554,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	574,811	701,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,014,508	△3,811,092
定期預金の払戻による収入	2,711,008	3,718,509
貸付金の回収による収入	1,256	1,119
有形固定資産の取得による支出	△304,100	△488,524
無形固定資産の取得による支出	△1,916	△1,558
投資有価証券の取得による支出	△5,899	△35,011
出資金の分配による収入	－	2,999
その他	△9	343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△614,169	△613,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	－	△4,397
配当金の支払額	△365,904	△368,282
自己株式の取得による支出	△27	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△365,931	△372,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△405,289	△284,191
現金及び現金同等物の期首残高	2,037,244	1,947,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,954	1,663,255

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第３四半期累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

該当事項はありません。

6.　その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第３四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

区　分		生産高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	9,518,105	＋1.4
	ラミネート汎用品	2,227,034	＋5.8
	その他	206,271	＋6.5
	計	11,951,411	＋2.3
包装機械	包装機械	305,922	△20.3
	その他	406,877	△1.9
	計	712,799	△10.8
合　計		12,664,211	＋1.5

(注) １．上記の金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
２．包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
３．包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
４．包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。

(2) 製品仕入実績

当第３四半期累計期間における製品仕入実績は、次のとおりであります。

区　分	製品仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
汎用フィルム	380,986	△3.2
合　計	380,986	△3.2

(注) 上記の金額は仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当第３四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

区　分		受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	9,541,128	＋2.0	2,010,090	＋4.3
	ラミネート汎用品	2,198,880	＋3.0	142,194	△29.8
	その他	681,161	＋1.6	105,100	＋13.2
	計	12,421,170	＋2.2	2,257,385	＋1.6
包装機械	包装機械	267,490	△41.8	55,830	△46.6
	その他	391,577	△13.0	74,086	＋16.7
	計	659,068	△27.5	129,916	△22.7
合　計		13,080,239	＋0.1	2,387,301	△0.1

(注) １．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２．包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
３．包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
４．包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。

(4) 販売実績

当第３四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区　分		販売高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	9,489,743	＋2.6
	ラミネート汎用品	2,154,271	＋5.5
	その他	665,648	＋1.1
	計	12,309,663	＋3.0
包装機械	包装機械	312,581	△15.5
	その他	378,194	△14.1
	計	690,775	△14.7
合　計		13,000,439	＋1.9

(注) １．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２．包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
３．包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
４．包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。
５．輸出については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。
６．主要顧客については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。